

なすび

第 47号

目次
1p 特集☆寮紹介
2p 行事報告
3p 部活動報告
4p 部活動報告、今後の
予定、編集後記

栃木県那須学園

〒329-2132

矢板市沢800

TEL 0287-43-0573

FAX 0287-43-6886

メール nasu-gakuen

@pref.tochigi.lg.jp

発行日 令和6年10月30日

☆ 特集 ☆

今年度もあつという間に後半戦に突入しました。月の流れは速いものです。日々、寮内をまとめる為に奮闘している各寮長から今年も「寮紹介＆抱負」をいただきました。

○男子一寮紹介

白井 聡

「一寮の涙」

男子一寮は三名からスタートし、途中退所もいましたが、現在は六名のこどもで生活をしています。六名それぞれに個性があり、ひとつのチームにまとめようとすると上手くいかず苦労してしまうことがあります。ですが、我々一寮の職員は親の気持ちになり、将来、こういうお兄さんになってほしいという像を示しながらあきらめず接しています。

話は変わり、寮長の話になります。最近、歳をとったなと思うことがあります。それは、いつもやらないことを率先してやる生徒を見たとき、失敗したときに「ごめんさい」と初めて言えたのを聞いたとき、また

在園期間が長い生徒が去年よりも良い経験が出来たときに、涙が出そうになることがあります。たまに一粒くらいこぼれるときがあるので驚いています。

一寮には中学三年生が四名いて、三月に卒業を控えています。そこまでに乗り越えなければならぬ課題が多くあると思いますが、苦労した分、うれし涙を流したい。いやいや、相手の気持ちを考えられる生徒を育て、きれいな涙を流したいと思います。ハンカチ持ってがんばります。



○男子二寮紹介

小鍋 良和

今昨年度に引き続き男子第二寮長をしております小鍋と申します。同寮での寮長も二年目になると、こども全員が新入生から受け入れたこどもに入れ替わり、自分の色を出しやすくなった印象があります。また、力のあるチームの仲間に支えてもらいながら、日々子どもたちの成長を見守っている状況です。今年度の男子第二寮は、こども四名でのスタートでした。毎月新入生を迎え入れ、六月からは現在のこども七名、職員七名の顔ぶれとなっています。『熱い思いを胸に秘め、心身ともにグレートな男になれ！熱男く！』このフレーズを年度初めに掲げ、日々過ごしています。年度末に向けて更なるこどもたちの成長を期待しつつ、日々、こどもと職員が向き合いながら良い寮となるよう励んでいきたいと思っています。

○女子寮紹介

早川 和美

女子寮は、現在こども六名と職員七名で生活をしています。今年の女子寮は、「ありがとう」がたくさん飛び交う寮だと感じています。こどもたちの入退所があると寮の雰囲気は

多少変化しますが、今は在園期間の長いこどもたちがしつかり「ありがとう」を伝えてくれるため、それが、全体にも影響され、良い雰囲気です。活できているのだと思います。

特に今年は中三生が多く、受験仲間がたくさんいます。その分、悩みも多く、受験校の決定だけでなく、これまでしてきた失敗を振り返り、学園を退所した後、どうすれば同じ失敗を繰り返さないかを日々考えています。色々な職員に相談できていることも、素直に聞き入れているところも良いところだと感じています。職員から言われたアドバイスを課題をノートに書きとめ、自分なりの考えをまとめます。さらに後日、職員に伝え、面接を繰り返しながら考えを深めています。学園で考えたことをまとめたノートがいつかこども達の役立つ時があれば良いなと思っています。

こどもたちは、思っていることを言葉にすることが苦手ですが、話すことで少しずつ気持ちや行動に変化が出ています。これは、現在丁寧に指導してくれている職員のおかげだと思っています。この良さを次に繋げられるよう、力を合わせて頑張ります。



☆行事報告☆

☆流しそうめん会

七月二十七日

那夏休み前の恒例行事になっている流しそうめん会です。例年、当日までに職員がそうめん台を作り、こどもたちが食事に参加する形でした。しかし、今年は『皆で夏の風物詩を楽しむ』という目的で、夏休みの作業時間を利用してそうめん台作りから食後の片付けまでをこどもたちと一緒にを行いました。当日は天気恵まれました。竹切り、そうめん台作り、会場準備、竹細工の箸や器作りなど、汗をかきながら、三ヶ寮で協力して準備をしました。中でもボランティア職員の手ほどきを受けながら、こどもたちが仕上げたそうめん台はとても立派でした。お待ちかねの流しそうめんでは、皆でお腹いっぱい美味しく食べて、ひとときの涼しさを感ずることができました。



☆海浜宿泊学習

七月十八日～十九日

一泊二日で行う行事を超えて更に一皮むけ、こどもたちは夏休みに突入します。行事自体の目的以外にも、多くの意義があるように感じます。



☆学園祭

九月二十日

オリエンテーリングでは、友人を気遣う声かけをしたり、リーダーシップを発揮したりすることができました。砂浜散策では、波と戯れながら遊ぶ無邪気な姿が見られました。他にも、施設での集団生活や水族館での班活動を通して、普段は見られないこどもたちの意外な一面も見しました。反省会では、こどもたち一人一人の振り返りに対して育成課の職員から丁寧なフィードバックがなされます。日記のコメントに関しては、この日ばかりは分校の職員が担当という貴重な機会です。過去の日記を読み返すと、こどもたちが今の姿である所がよく分かり、感慨深いものがありました。

那須学園の秋と言えば学園祭。昨年度はたこ焼き店でハプニングが発生し、今年度はたこ焼き店を開くことが出来ないことも想定されましたが、先生方の協力のおかげで那須学園の伝統を守り、たこ焼き店を復活させることが出来ました。

今年も例年通り、ラーメン、たこ焼き、パンケーキ、ドリンク、ゲームコーナーの模擬店を出店し、こども職員が招待者を丁寧におもてなしました。百名ほどの地域の方、前籍校や児相の方々等をお迎えし、緊張した面持ちで接待しながらも、嬉しさを隠し切れず、普段見ることの出来ないこどもの表情が印象的でした。お腹も心も満たされ、応援してくださる地域の方々、支えて下さる関係者の皆様のためにも、職員児童一同これからも前進し続けます。



☆部活動報告☆

☆野球部

今年度の野球部はルールや動きを覚える所からのスタートでした。練習時間は火曜日から木曜日までの一時間半、土曜日の二時間と決して多くの練習時間の確保は出来ませんでした。部活以外の自由時間にルールをノートに書き、動きを職員に質問する等、自らやれる事をやる子が増えてきました。時には弱気になり落ち込むこともありましたが、こども間でお互い励ましの言葉をかけ合い頑張る練習に取り組みました。他県の児童自立支援施設、地元中学校の野球部、矢板市シニアクラブ野球チームの方との練習試合を通して力をつけることができました。

大会では初戦に勝利できましたが、二回戦で敗退。それでも練習の成果を存分に発揮し大会後は全員が清々しい表情でした。大会を通じて勝つ喜びと負けて悔しいという両方を感じることができたのは大きな収穫で、自信に繋がりその後の学園生活の様子も変わってきました。応援いただいた皆様ありがとうございました。





☆男子水泳部

六月から始まった男子水泳部。今年の目標は「総合優勝」。スローガンは「がむしゃら」。目標とスローガンを胸に、練習に励みました。大会直前にコロナが流行し、練習できない時期もありました。しかし今年はいかに長い距離を泳ぎ込み、自分自身を追い込む練習をしていきました。そして迎えた大会当日。イメージしていたよりも水深が深く、水も冷たくてパニックになることもありました。しかし全員で声を掛けながら、スタートラインに立つことが出来ました。大会で競技を終え、悔しくて泣いてしまうこともや、嬉しくてガッツポーズをするこどももいました。

個人の結果は異なりましたが、団体では見事に総合準優勝。十年ぶりの快挙です。優勝まで一点足りなかったことが心残りですが、満足そうな笑顔や自信に満ちあふれたこどもたちの顔つきが、今でも印象に残っています。「監督のおかげで準優勝することが出来ました。」最高の言葉をありがとう。そして、最高の夏の思い出をありがとう。



☆女子水泳部

女子水泳部は六月に始動しました。「自分に勝つ」という目標と、こどもたちが考えた「皆で良い雰囲気にし、気合いと根性で優勝！」というスローガンのもと、日々厳しい練習に励んで熱い夏を過ごしました。練習がきつくて諦めそうになっても、自分に負けずに一生懸命泳ぎ込む子

が大半でした。職員も勉強になることが多かったです。

八月二十一日の関東少年水泳大会には、皆やる気満々で臨みました。職員に言われなくても自分たちで気持ちを持ちを高め、本番の雰囲気を作る姿は頼もしく立派でした。大会は緊張感がありましたが、皆最後まで諦めずに泳ぎました。自己ベストが出て喜ぶ子、悔しくて泣く子と様々いましたが、互いに声をかけ合って一生懸命泳ぎきり、総合準優勝を頂くことができました。こどもたちの顔はやりきった達成感で逞しかったです。夏の間に鍛えた自分に負けない心を今後の生活にも生かせるよう、職員としても支援してきたいと思います。



☆バレーボール部

女子寮の部活動は、シーズン毎に部活動が変わり全員同じ部活動に所属します。そのため、今年は水泳大会が終わった八月二十七日からバレーボール部が再始動しました。春から部員も増えて現在六名になりました。後半の活動からは『自分の役割を果たす』という目標を加えました。コート上のポジションの役割だけではなく、部員の一人として練習の中でできることを精一杯やっています。夏まではパス練習中心でしたが、後半の活動ではチーム練習に時間を割き活動しています。チーム練習を始めた当初はうまくボールが繋がらず、声も出なくなってしまう状況がありました。しかし練習試合を経て、チームメートの声を聞いて動くことや互いに声を掛け合いプレーすることが出来るようになってきました。また、練習試合ではプレー内容だけではなく、体育館周りの環境整備、会場準備片付け、試合の線審など協力して積極的に動くことができたことも良かったところです。大会が終わった後に少しでも得るものが多くあるように練習に励んでいきます。



☆卓球部

今年も卓球部の監督を任せられました。今年は去年の経験者が二人しか残っておらず、厳しい活動になるのかなあ、という不安な気持ちでスタートしたのですが、こどもたちが日々、真剣に練習に取り組んでいく中、順調すぎるくらい驚きの成長を見せてくれているところです。その力を、なんとか本番の試合で発揮できるようサポートしていきたい、そう思っています。



☆吹奏楽部

吹奏楽部は今年も、こどもも大人も全員が一丸となって元気に取り組んでいます。ほぼ全員が初心者から始まって、とても苦労して練習しますが、最後は上手に演奏できるようになります。今年度は、「ブラジル」「3月9日」そして代表者によるアンサンブル「手紙」を練習しています。十月にマロニエウインドオーケストラさんとの合同練習会、十一月に千葉県で行われる関東少年文化祭十二月のクリスマス会、二月の沢地区と更生保護女性会さんへの演奏会に向けて日々練習を頑張っています。とくに「3月9日」はソロパートが多くある曲で、難しいです。緊張しながらも一生懸命演奏している姿、心のこもった音色にジーンときてし

まいます。難しくとも前向きに頑張っている、中には「高校生になったら吹奏楽部に入りたいな」なんて声も聞こえてきました。みんなの可能性は無限大。今年もとても素敵なお須学園の吹奏楽部。良い演奏をお届けできるよう、頑張っています。

〜那須学園の自慢〜

那須学園には四つの水田があり、五月の田植えから九月の稲刈りまで児童、職員、分校教員が行っています。毎年、園内行事として稲刈りが行われています。今年も、今ではほとんど見られなくなった「はざかけ」が土台作りから行われ、今では学園風物詩となっています。一つ一つ手間をかけて育てた学園産の新米は格別な美味しさです。様々な経験を通して、日頃の食に関心や感謝の気持ちを感じられる人に成長していって欲しいと願っています。



〜今後の予定〜

- | | |
|--------|-----------------|
| 十月二十六日 | マロニエオーケストラとの演奏会 |
| 十一月十五日 | 収穫感謝祭 |
| 十一月八日 | 関東少年文化祭 |
| 十二月四日 | 関東少年卓球大会 |
| 十二月十五日 | クリスマス会 |
| 一月 十七日 | 第一回スキー教室 |
| 二十四日 | 第二回スキー教室 |
| 二月 七日 | 園内マラソン大会 |



編集後記

昨年以上の猛暑の中で野球や水泳に励んできた夏が終わりました。特にこの夏は一年半ぶりに学園でもコロナが流行し、部活動の中止はもちろん、寮ごとの隔離生活を強いられた時期もあったなど大変な時期でもありました。そうしながらも時間は流れていき、例年より少し遅れて高原山にも紅葉が色づいてきました。学園内でも各地にある金木犀が甘い香りを漂わせ、新米をはじめ栗や柿、サツマイモなど秋の味覚が収穫され、秋の深まりを感じられてきました。

今年もこの時期より、男子は卓球、女子はバレーに熱くなってきました。そして、中三生は受験モードに入りました。今年は受験生が昨年よりも多く、受験校も各地になることが予想されて忙しくなりそうですが、こどもたち各々が夢と目標に向かって精一杯頑張ってくれることを願っています。

育成課

平野・関・芝